

(公財) 兵庫県まちづくり技術センターが取り組む
「市町橋梁点検支援システム (らくらく点検システム)」と
「市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)」が
「令和元年度 全建賞」を受賞しましたのでお知らせします。

○受賞した取り組みの概要

(月刊「建設」8月号に紹介記事が掲載されます)

令和元年度スタート

橋梁点検支援システム ～らくらく点検システム～

橋梁点検を直営で実施する市町職員の点検作業の効率化を支援

兵庫県内の市町では、橋梁補修工事が本格化するなか、橋梁定期点検が2巡目を迎え、厳しい財政状況、技術職員の不足・不在、経験・技術力不足が課題となっています。当センターでは、これらの課題に対応するため、「らくらく点検システム」を搭載したタブレット端末を活用していただくとともに、これまで同様、当センターが点検結果の診断やデータ管理等を行い、市町職員の点検作業の効率化と業務能力向上を支援します。

兵庫県内の市町管理橋梁
約20,000橋

市町が抱える課題

- 厳しい財政状況
- 技術職員の不足・不在
- 経験・技術力が不足

らくらく点検システムで市町直営点検をサポート

- 橋梁点検車を必要としないRC床版橋の点検に利用可能
- タブレットの指示に従うだけで初心者でも簡単に点検可能 (ガイドモード)
- 点検結果の診断やデータは当センターのデータベースで一元管理

紹介用ビデオはこちら

パンフレットはこちら

■問い合わせ先
 まちづくり推進部市町計画課
 ☎078-367-1228

令和元年度スタート

市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)

兵庫県下での被災市町の災害復旧を総合的に支援する仕組みを構築

頻発・激甚化する自然災害
 記録的な豪雨、高潮、暴風による風水害・土砂災害等が頻発・激甚化

市町単独では災害復旧への迅速な対応が困難

- 住民対応に割かれる多くの労力
- 技術職員の不足・不在
- 災害対応経験の不足
- 県による災害支援の限界

被災直後の初動対応から災害査定対応に至る災害査定実務を総合的に支援

ステップ1 I. 初動対応支援
 (緊急災害復旧支援派遣隊:ひょうごE-DASH)

ステップ2 II. 災害査定支援

継続支援
 災害復旧工事に伴う発注・積算・工事監理業務の取り扱い、自治体間の連携、被災市町の復旧支援

補充
 市町職員の災害対応能力の向上を支援

県との連携
 県による災害復旧支援の早期確保を支援 (兵庫県)

紹介用ビデオはこちら

パンフレットはこちら

■問い合わせ先
 企画部企画調整課
 ☎078-367-1223

○全建賞とは

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたもので、昭和28年(1953年)の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。(一般財団法人全日本建設技術協会HPは[こちら](#))